



進路だより 未来へむかって

発行者 新潟県立小出特別支援学校 川西分校 進路指導部

現場実習期間が終了！！ 充実した実習となりました。



4週間という長い実習期間が終わりました。保護者の皆様からは、昼食準備や実習への送り出しなどご支援いただきありがとうございました。

今回は雪も降り、気温も低く大変な状況での実習でした。ですが、実習を振り返ると「現場実習はとても大切な学習の機会」ということを改めて感じています。現場でしか分からないこと、現場に行くから・今回のような気候だから経験できること、現場で求められる内容に応えようと頑張れたこと等々、生徒自身が感じ取れることがたくさんあったかと思います。また現場で必要な内容を肌で感じることで、これから身に付けなければいけないこと、学校で学習していくべきことも分かってきたのではないのでしょうか。今回の実習の経験を大切に、個人個人の成果と課題をご家庭でも確認してください。

これから3年生は卒業後の社会生活に向けて、2年生は3学期のふれあいジョブに向けて、1年生は2年時のふれあいジョブに向けて、準備をしていく大切な時期です。意識や準備など何もないと、成長や定着に繋がりません。これからの日々の学習を大切にしたいと思えます。



現場実習に、ご協力いただいた事業所を紹介します。 今回28カ所の事業所から協力いただきました。

★印は新規協力事業所です。

<福祉事業所>

ワークセンターかわにし、ワークセンターあんしん、なごみの家、しづみの家、エンゼル妻有、サンファーム、よつば、ワークセンターなごみ、工房なかさと

<企業>

不老閣★、希望の里松涛園、まほろばの里川治、ヴィラ明石★、あかね園、七川荘、コープ中里、服部総業、津南町森林組合、サイドライン、信濃クミ、きものブレイン、中条ハーネス水沢工場、宮本警報器十日町工場、十日町すこやかファクトリー★、リオンドール十日町店、麵工房桐生、妻有工房かわきた★、十日町情報館

※順不同、商号略

忘れていただきたくないのが、この職場実習の活動は、地域の皆様からの協力があってこそ取り組める活動ということです。地域の皆様から「川西分校の子どもたちのために…」という思いで、利益を求めず、ご協力いただいています。

私たち職員も、実習の現場を提供していただいた地域の皆様へ感謝の気持ちを持ち、思いに応えるために、これからも生徒の学習や成長の機会を大切にしていきたいと思えます。保護者の皆様からも、ご支援・ご協力をお願いいたします。

<実習協力事業所からこんなご意見をいただきました>

- 周囲の社員に良い影響を与えてくれました。
- 卒業生が張り切ったり、実習生が安心したり、お互いが良い影響になったようです。
- 仕事を一生懸命にがんばってくれるので、こちらも助かりました。
- 卒業後の選択肢の一つと考えてくれるとありがたいです。
- 様々な事情をおもちの方と接する上で、こちらが考える機会になりました。
- 事業所に活気をもたらしていただきました。また前回と比べ成長を感じました。
- 仕事の上で、笑顔や一生懸命さが大切であることを改めて感じることができました。
- 福祉全体としても、地域と一緒に取組を行う時代です。少子化などから地域の人材としても皆さんの協力が必要かと思えます。
- ▼日常の挨拶や整理整頓等、お家や学校でも声を掛けていただきたいです。
- ▼分からないことを質問できると良いです。
- ▼もう少し大きい声を出してみましよう。
- ▼着替えに時間が掛かるように思います。業務だけが仕事じゃないです。
- ▼社会人に向けて仕事ができるばかりでなく、身の回りのことや社会性も身に付けてほしいです。
- ▼はさみの使い方や衣類のたたみ方など生活力も身に付けてほしいです。
- ▼挨拶や日常動作など基本的な所作がきちんとできてほしいです。
- ▼仕事を続ける上で、集中力の持続は大切になります。



内容を見ていただくと、良好な受け止めとしては、一生懸命にがんばる姿や受入の成果をあげる意見が多かったです。

また課題としてあげられた内容は、業務の内容の達成度というよりも挨拶や質問などのコミュニケーションのことや日常所作等に関わる人が多いです。

アンケートの記述によると、事業所の皆様としては、与えられた専門的業務がしっかりできるということよりも、その土台となる日常生活や社会生活に関わることに身に付いているか、生活の経験が生かされているか、生かされる経験があるかに目が向く方が多いようです。



現場実習報告会を行いました。



12月11日(月)午後より実習の報告会を行いました。
 其中で現場実習の総括として、進路指導主事より以下の内容の話をしました。

- 全学年全体として良かったことは、
 - ①健康管理：降雪や低温の中、予定された日程を休まずに出勤できた生徒が、ほとんどでした。
 - ②現場でのチャレンジ：任されたことに一生懸命に取り組む姿が見られました。
- 改善・課題として求められることは、
 - ①季節や場面にあった服装：低温時に薄着（通勤時に青ジャンパーの下はポロシャツ1枚）、作業場に入るのにコートを着たまま等が見られました。
 - ②コミュニケーション：挨拶・報告・質問を現場の状況、業務の進行に合わせて相手に伝えている。そのために周囲の人が困ってしまうことがありました。
 - 3年生では、機械音・静寂時・人の多さなどに合わせた声の大きさ、生徒個人の実態に合った伝え方で相手へしっかりと伝えること。
 - 2年生では、業務経過や不測の事態などで、報告（伝えなければいけないこと）や質問（聞かなければ分からないこと）を確実にすること。相手（職員・支援者・お客様等）に合わせた伝え方（言葉遣いや明瞭さ）、業務（内容や状況）に合わせて趣旨を伝えること。
 - 1年生では、体調や不良品、不明な点などについて、どんな状況であろうと報告や質問を行うこと。現場の環境に合わせた声の大きさで行うこと。コミュニケーションを取るときにできるだけ笑顔を心掛けること。

○「がんばりました」という自分の気持ちがあることが、「できた」ということではありません。
 （「がんばりました」≠「できた」）現場の人の評価や巡回した先生方の評価、自己評価をあわせて、「できた」ということにつながっていきます。今回の実習をしっかりと振り返りましょう。

職種ごとに11グループに分かれ、それぞれの実習の経験を報告し合いました。できたことを確認し拍手をしながら行ったグループ、動画を見て様子を直感したグループ、事業所から求められる力にうなずきながら確認したグループ等、充実した時間になったようです。



今後の進路に関わる行事

1・2年生進路説明会

<日 時> 1月26日(金) ※1日参観日、学年懇談会と同日

<内 容> 次年度の実習への取組に向けての見通し
 福祉施設利用に向けて在学中に取り組む手続き
 企業就労に向けて在学中に取り組む手続き



※進路は3年生の3月に検討して決まるわけではありません。2年時に取り組まなければならないこと、3年時のスタート段階で取り組むことがあります。この説明会でお伝えさせていただきます。
 ※時期が近付きましたら、再度ご案内致します。

次回の進路教室(今年度最終回)

期 日	内 容
2月22日 (木)	・卒業生のトラブル ~卒業生の失敗事例から今取り組むこと~

<時間> 13:30~15:00
 ※日時が近付きましたら再度ご案内いたします。

不明な点があれば、いつでもお問い合わせください。

新潟県立小出特別支援学校川西分校

TEL 025-768-3325

FAX 025-768-3371

担当：進路指導部 細井哲明 齋木秀夫
 佐藤正高 黒木里佳

